

令和 4 年度  
名古屋大学大学院情報学研究科  
博士後期課程

数理情報学専攻  
複雑系科学専攻  
社会情報学専攻  
心理・認知科学専攻  
情報システム学専攻  
知能システム学専攻

学生募集要項  
(令和 4 年 4 月入学)

名古屋大学  
大学院情報学研究科

## 自然災害により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では、自然災害等被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学試験の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ホームページでご確認ください。

○本学ホームページ

URL <https://www.nagoya-u.ac.jp/>

入学案内>大学院入試・学部編入試など

## ◆ 不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じる場合があります。試験日程の延期が難しい場合、中止の可能性もあります。変更が生じた場合は、下記ホームページ等により周知しますので、定期的にご確認ください。

○情報学研究科ホームページ

URL <https://www.i.nagoya-u.ac.jp/graduate-school-of-informatics/>

## 新型コロナウイルス感染症における名古屋大学の活動指針に沿った選抜方法の実施について

新型コロナウイルス感染症に罹患した受験生や、試験当日に発熱の症状があるなど体調不良の受験者については、必要に応じて代替措置を講じますので、学生募集要項7頁にある照会先までできるだけ速やかに連絡してください。

## 日本国以外の国籍を有する受験生の方へ

### 【安全保障輸出管理について】

名古屋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて、外国人留学生の受入について、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・研究活動ができない場合がありますので、あらかじめ出願書類を提出する前に指導を希望する教員またはグループに申し出てください。

※学生募集要項に記載の時間はいずれも日本標準時として記載しております。

## 令和 4 年度 名古屋大学大学院情報学研究科 博士後期課程学生募集要項

令和 4 年 4 月に本研究科博士後期課程に入学又は進学を志願する学生を以下により募集する。

### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和 4 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 4 年 3 月 31 日までに授与見込みの者
- (4) 我が国において、外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）  
出願資格(5)により出願する者は、8 頁の「出願資格(5)により出願する者について」を参考すること。
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 4 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者  
出願資格(6)により出願する者は、10 頁の「出願資格(6)により出願する者について」を参考すること。

### 2. 募集人員

数理情報学専攻	4 名
複雑系科学専攻	8 名
社会情報学専攻	5 名
心理・認知科学専攻	7 名
情報システム学専攻	9 名
知能システム学専攻	10 名

（注）志願者は、出願に際して志望グループ・志望教員を決めるにあたり、必ず希望する教員に直接連絡をとること。

教員の研究内容等については、(<https://www.i.nagoya-u.ac.jp>) を参照すること。

### 3. 願書受付期間及び出願手続

令和 3 年 12 月 21 日（火）から令和 3 年 12 月 27 日（月）16 時まで（郵送必着）

志願者は、出願書類を取りそろえ、本研究科所定の宛名用紙を貼り付けた封筒に入れ、

情報学研究科教務学生係に郵送すること。出願書類の持参及び電子メールでの出願はできません。

- (1) 出願書類は、簡易書留郵便（日本国外から送る場合は追跡記録が残る方法）で送付すること。
- (2) 受験票は、郵送で本人に交付する。試験 1 週間前までに到着しない場合は、情報学研究科教務学生係に確認すること。
- (3) 出願書類に不備のある場合は、受け付けないので留意すること。
- (4) 出願手続き後は、書類の変更、差替、返却は受け付けないので留意すること。

#### 4. 出願書類

入学志願票等の所定用紙は、情報学研究科ホームページからダウンロードし、A4 判用紙に片面印刷のうえ記入してください。（ダウンロードした様式に PC で入力したものも使用可）

##### 全員が提出する書類

- (1) 入学志願票（【様式 1】に記入したもの）
- (2) 受験票、写真票（本研究科所定の用紙に記入したもの）
- (3) 志願理由書（【様式 2】に記入したもの）
- (4) 履歴書（【様式 3】に記入したもの）
- (5) 受験票送付用封筒（市販の封筒をご用意ください）

長形 3 号（23.5cm×12cm）の封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金の 344 円分の切手を貼ったものを提出してください。（ただし、日本国内への送付を希望する場合に限ります。日本国外への送付を希望する場合は、A4 サイズの封筒に、出願者の郵便番号、住所、氏名を英字で記入し、日本の切手 1400 円分または国際返信切手券（IRC）11 枚を同封すること。）

- (6) 合否通知送付用封筒（市販の封筒をご用意ください）  
長形 3 号（23.5cm×12cm）の封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金の 344 円分の切手を貼ったものを提出してください。（ただし、日本国内への送付を希望する場合に限ります。日本国外への送付を希望する場合は、A4 サイズの封筒に、出願者の郵便番号、住所、氏名を英字で記入し、日本の切手 1400 円分または国際返信切手券（IRC）11 枚を同封すること。）

- (7) 宛名シート（本研究科所定の用紙に記入したもの）
- (8) 修士学位取得（見込）証明書又は修士修了（見込）証明書（コピーは不可）

本研究科、情報科学研究科及び人間情報学研究科の修了見込者及び修了者は不要。

すでに大学院（修士課程として取り扱う課程）を修了した者は、「修士」の学位を得たことがわかる証明書を提出すること。

外国の大学院を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付）を提出すること。

- (9) 成績証明書（最終出身大学院作成のもの）（コピーは不可）  
本研究科、情報科学研究科及び人間情報学研究科の修了見込者及び修了者は不要  
外国の大学院を卒業した者は、大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は、英訳版を添付）を提出すること。

- (10) 入学検定料 30,000 円  
ただし、本学大学院博士前期課程（他研究科も含む）を修了し、引き続き本研究科博士後期課程へ進学する者及び国費外国人留学生として入学する予定の者は、入学検定料不要。

・入学検定料は、11 頁の「コンビニ・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参

照の上、コンビニエンスストア又はクレジットカードで払い込んでください。コンビニエンスストアで受領した「収納証明書」又はクレジットカード支払い後に自ら印刷した「収納証明書」を入学志願票の所定欄に貼ってください。

- ・日本国外在住者は、クレジットカードで払い込んでください。
- ・払込手数料（コンビニ支払い：616円 クレジットカード：840円）が必要となります。
- ・出願期間に限らず入学検定料の支払いが可能ですが、入学料を支払い済みでも、出願期間中に書類が到着しなかった場合は、出願は受け付けない旨留意してください。

【注意】出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても納入済みの検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は差し引く。

- ① 検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ② 検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行われる。日本国外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するため、入学検定料の納入は慎重に行うこと。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) →入学案内→大学院入試・学部編入試験など→入学検定料の支払いについて を確認すること。

(11) 修士学位論文1部（写も可）及び論文要旨1部（修士学位論文を提出しないで修了した者はそれに代わる研究論文等）ただし、令和4年3月31日までに修士学位取得見込の者は、修士学位論文は不要であり、論文要旨1部のみを提出するだけでよい。

論文要旨については、【様式4】に記入するか所定の様式全てをワープロ等で作成してもよい。必要に応じて用紙を追加してもよい。

(12) オンライン口述試験に関する誓約書（【別紙2】に記入したもの）

(13) オンライン口述試験連絡票（【別紙1】参照。Eメールアドレス及び携帯電話番号などをインターネットによるアンケートフォームにて出願期間内に提出すること。）

#### 参考資料として提出することが望ましい書類

- (1) 修士論文以外に本人の研究能力を示す資料がある場合は、それらを1部（コピーでよい）及び必要に応じてその概要を1部
- (2) 外国人留学生で日本語能力試験を受験したことがある者は、合格証又は成績通知書。複写したものを提出する場合は、「これは原本の複写に相違ありません」と記入し、署名又は押印すること。
- (3) 英語検定試験（英検・TOEIC・TOEFL・IELTS・Duolingoなど）、その他の外国语（仏独語など）検定試験の資格をもつ者は、合格証又は成績通知書のコピー。複写したものを提出する場合は、「これは原本の複写に相違ありません」と記入し、署名又は押印すること。合格証又は成績通知書の有効期限は、2019年4月1日以降受験分とする。「TOEFL-iBT Home Edition」も有効とする。

#### 該当者のみ提出する書類

- (1) 外国人の出願者は、在留カードのコピー（両面）、市区町村長の発行する住民票の写し、住民票記載事項証明書のいずれかを提出すること（いずれも在留資格を確認できるものであること。住民票コード通知書は不可）。  
また、現在日本国外に在住している者は、国籍を確認できるもの（例えばパスポートの国籍が記載されている顔写真のある頁のコピー）を提出すること。出願書類等には、これらの証明書に記載された氏名を用いること。
- (2) 官公庁、会社、団体等に在職中で入学後も引き続き在職する者は、受験承認書を提出すること（様式は随意）。入学後退職する予定の場合は、その旨記した申出書を提出す

ること（様式は随意）。

- (3) 現在国費留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）を提出すること。ただし、学内からの出願者は提出不要。

## 5. 選 抜 方 法

(1) 入学・進学者の選抜は、口述試験の成績並びにその他提出された書類による総合評価で行う。

(2) 口述試験は、次の日程により行う。ただし、出願者に特段の事情がある場合は、出願前にあらかじめ情報学研究科教務学生係に連絡すること。

(3) 口述試験は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインで実施する。

自己の責任において、ビデオ通話が可能な機器（カメラ付きパソコン、タブレット、スマートフォン等）を用意するとともに、良好かつ安定的なインターネット環境を確保すること。

なお、実施方法等詳細は、出願後、各受験者に交付する受験票に同封する文書または電子メール等により連絡する。

### 口述試験

修士学位論文又はそれに代わる研究論文及び博士後期課程における研究計画についての発表（あわせて20分程度）と発表についての質疑応答、及び専門分野についての試問を行う。

専攻名	試験日	試験時間
数理情報学専攻	2月15日（火）	9：30～
複雑系科学専攻	2月15日（火）	9：30～
社会情報学専攻	2月15日（火）	9：30～
心理・認知科学専攻	2月15日（火）	9：30～
情報システム学専攻	2月15日（火）	9：30～
知能システム学専攻	2月15日（火）	9：30～

## 6. 合 格 発 表

令和4年2月21日（月）12時 情報学研究科棟玄関に掲示する。なお、郵送により合否を本人宛通知する。

また、掲示発表後、本研究科ホームページにおいても発表する。

ただし、これは受験生の便宜を図るための速報であるため、必ず掲示又は郵送される合否結果通知により確認すること。

## 7. 入学手続

入学手続については、令和4年3月上旬本人に通知する。手続日は、令和4年3月下旬の予定である。

## 8. 入学料及び授業料

### (1) 入学料 282,000円

ただし、本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程へ進学する者及び国費外国人留学生は、入学料を要しない。

### (2) 授業料 春学期分 267,900円(年額535,800円)

ただし、国費外国人留学生は、授業料を要しない。

(注1) 入学料は入学手続き時に納入する。授業料は、春学期及び秋学期に分けて、春学期にあっては5月、秋学期にあっては11月に納入する。

(注2) 入学時及び在学中に学生納付金額の改定が行われた場合には、改正時から新たな納付金額が適用される。

## 9. その他の

(1) 出願資格、出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は、あらかじめ問い合わせること。

(2) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあっては、令和3年12月13日（月）までに、以下3点を添えて、その旨を情報学研究科教務学生係へ申し出ること。

1) 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4サイズ）

2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）。

3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。

4) 適宜それ以外の書類を添付しても構わない。

なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

(3) 名古屋大学においては、構内への車両の入構規制を実施しているので、受験の際は、公共交通機関を利用すること。

(4) 住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

### ※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、ホームページ(<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/>)により周知するので、定期的に確認すること。

【照会先】〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院情報学研究科教務学生係

TEL 052-789-4721・4722

<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/>

E-mail: admission@i.nagoya-u.ac.jp

## 出願資格（5）により出願する者について

### 1. 出願資格

文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示 118 号）

次のいずれかの要件を満たす者であること。

- 1 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- 2 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

なお、「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、学術論文、著書、研究発表、特許、作品等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者である。

### 2. 資格審査

#### 2.1 提出書類

出願資格（5）により出願する者は、あらかじめ次の書類を令和 3 年 12 月 6 日（月）16 時（必着）までに、情報学研究科教務学生係へ郵送（簡易書留郵便で封筒の表に「後期課程事前審査申請」と朱書）し、出願資格の有無についての資格の事前審査を願い出ること。

- (1) 事前審査申請書（【様式 5】に、本人が記載したもの）
- (2) 履歴書（【様式 3】に、本人が記載したもの）
- (3) 事前審査シート（【様式 7】に、本人が記載したもの）
- (4) 研究歴証明書（【様式 9】に、所属の長等が証明したもの）
- (5) 卒業証明書（大学のもの）
- (6) 成績証明書（大学のもの）
- (7) 業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等の写し

#### 2.2 審査結果の通知

本研究科で資格審査を実施し、その結果は令和 3 年 12 月 20 日（月）までに本人に通知する。

### **3. 出願書類**

資格審査の結果、「出願資格あり」と判定された者は、募集要項の「4. 出願書類」に記載の書類を出願時に提出する。ただし、全員が提出する書類の「(4) 履歴書」「(8)修了証明書等」「(9)成績証明書」の提出は不要である。

## 出願資格（6）により出願する者について

### 1. 出願資格

本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する年の3月31日までに24歳に達する者

本研究科が「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」は、以下の2つのいずれかの要件を満たす者を想定している。

- (1) 学術論文、著書、研究発表、特許、作品等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者
- (2) 技術職や教育職などの専門的職業に就き、成果を挙げている者

### 2. 資格審査

#### 2.1 提出書類

出願資格（6）により出願する者は、あらかじめ次の書類を令和3年12月6日（月）16時（必着）までに、情報学研究科教務学生係へ郵送（簡易書留郵便で封筒の表に「後期課程個別審査申請」と朱書）し、出願資格の有無についての資格の事前審査を願い出ること。

- (1) 個別審査申請書（【様式6】に、本人が記載）
- (2) 履歴書（【様式3】に、本人が記載）
- (3) 個別審査シート（【様式8】に、本人が記入したもの）
- (4) 卒業証明書（最終学歴の教育機関のもの）
- (5) 成績証明書（最終学歴の教育機関のもの）
- (6) （該当する場合は）業績として学術論文、著書、研究発表、特許、作品等の写し
- (7) （該当する場合は）研究職／専門職従事証明書（【様式10】に、所属の長等が証明したもの）

#### 2.2 審査結果の通知

本研究科で資格審査を実施し、その結果は令和3年12月20日（月）までに本人に通知する。

### 3. 出願書類

資格審査の結果、「出願資格あり」と判定された者は、募集要項の「4. 出願書類」に記載の書類を出願時に提出する。ただし、全員が提出する書類の「(4) 履歴書」「(8) 修了証明書等」「(9) 成績証明書」の提出は不要である。

# コンビニ・クレジットカードでの入学検定料支払方法

コンビニ端末で直接お支払の場合(インターネット不要) ※日本国内のみ

1  
お申込み

セブン-イレブン  
マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある  
「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」より  
お申込みください。



学び・教育

↓  
入学検定料等支払

LAWSON  
Loppi MINISTOP  
Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」  
にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」より  
お申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓  
学び・教育・各種検定試験

↓  
大学・短大・専門、  
小・中・高校等お支払い

名古屋大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

\*漢字氏名入力欄において、漢字氏名のない方はカナ入力  
してください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合が  
あります。

2  
お支払い

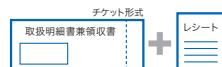
①コンビニのレジでお支払ください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が  
出力されますので、30分以内にレジにてお支払ください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

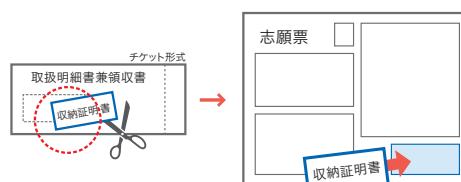
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払入手数料が別途かかります。

3  
出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の  
「収納証明書」部分を切り取り、志願票の「入学検定料  
収納証明書貼付欄」に貼付して郵送ください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある  
糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



クレジットカードでお支払の場合

<パソコン・スマートフォン>

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス



<https://e-apply.jp/n/nagoya-u51/>



から  
申し込む

画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、  
次のページで表示される「受付番号(12桁)」  
を必ず控えたうえ、お支払い画面に進んで  
ください。

\*カード決済完了後の修正・取消はできません。  
申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い



●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくとも構いません。  
但し、前段の画面で入力する基本情報は、  
必ず受験生本人のものを入力してください。



お支払い後に上記URLまたは支払い完了  
メールに記載されたURLへアクセス(※1)し、

【 収納証明書の印刷】

からPDFファイルを

ダウンロードの上、印刷してください。

※1:お申込の際に発行された「受付番号(12桁)」  
が必要です。

上記URLからアクセス



※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要  
となります。



# 名古屋大学大学院情報学研究科

## ● 研究科の基本理念

情報革命は二つの側面を併せ持っている。第一にそれは人類の抱える問題とその解決をより複雑なものにした。人類が直面する問題は、自然・人間・社会・人工物が絡まり合うことで生み出されてきた。これに膨大な情報が加わることで、問題はさらに複雑さと困難さを増した。第二に、情報革命は問題解決手段の大幅な拡充をもたらしている。自然・人間・社会・人工物は「情報の流れ」として統合的に理解することができ、情報科学技術は、その緩やかな統御を通じて、人類が直面する複雑かつ困難な課題に新たな解決方法を与える可能性をもつ。さらに情報革命は、既存の問題の解決手段に留まらず、新しい価値創造のための手段も与えてくれる。

こうした情報科学技術の潜在的 possibility を十分に開花させ、問題解決と新たな価値創造を実現するために、本研究科では、分野横断的な知恵としての新しい「情報学」の創造を目指している。自然・人間・社会・人工物を、情報の流れを創出するシステムとして統一的に理解することを目指す。そして、その理解に基づき、新しい情報の流れを総体としてデザインし、狭義の情報処理技術のみならず、法・規範や制度・組織・意思決定までを含む「広い意味での情報システム」を構想・実現することで、人類の生存と幸福に寄与する。

## ● 研究科の教育

情報革命の進展とともに、情報処理手法を活用することにより膨大なデータを分析して新規性と価値のある情報を取り出す方法論の開発がアカデミックな優位性を保つためにきわめて重要になっている。さらに、自然・人間・社会・人工物にわたる現象を情報処理過程と捉えてモデル化する見方や、さらには膨大なデータそのものをモデルの代わりとする見方がさまざまな分野に取り込まれ、情報という枠組みを共通言語として分野間の融合が進みつつある。

また、我が国の産業は、情報科学技術を活用した社会イノベーションの創造や業務革新においては、他国に遅れをとっている。そこで、情報科学技術に関する最新の知識に加えて、自然・人間・社会等の実世界についての深い理解をもつ人材が求められている。そして、情報科学技術と実世界を繋いで、価値創造をデザインするとともに、それを実世界で実現していく人材が求められている。

情報学研究科の博士後期課程では、各専門領域における研鑽を通して次のような高度研究人材を養成する。  
新たな情報学の開拓を先導できる情報学関連各分野の研究者

情報学の高度な専門知識と能力を駆使して、社会の各場面で新しい価値創造を先導できる国際性とリーダーシップに富む人材

## ● アドミッションポリシー

情報科学のもつ学術及び社会への影響力を理解し、その理論・技術基盤を探究し、実践的活用を目指す意欲と基礎学力のある学生を受け入れる。

## ● 学位

本研究科の博士後期課程において、所定の修了要件を満たした者に対しては、博士（情報学）又は、博士（学術）の学位が授与される。

## ● 専攻の概要

数理情報学専攻、複雑系科学専攻、社会情報学専攻、心理・認知科学専攻、情報システム学専攻、知能システム学専攻の6つの専攻により構成される。

### 1) 数理情報学専攻

自然現象や社会現象を解明するためのデータ・アナリティックスと情報数理モデルに関する知識や能力に重点を置いて教育を行う。

近年のインターネットの整備、携帯端末の普及、計算機性能の向上など、情報技術の急速な発展により、大量の情報が我々の社会の至るところにあふれている。それらから意味のある情報を抽出して解析し、それに基づく意思決定を行うために数理情報学は有効な理論と方法を与える。

数理情報学専攻では、情報学の基礎を支える数理科学の研究・教育を行う。その実現のためには、広く自然や社会等の実世界における現象をデータ分析から情報学的に理解し数理モデルを構築することが重要である。このモデル構築作業を基に情報に関連する基礎数理を解明し展開することで、本専攻では情報学を深く豊かに発展させてゆく。そしてこれを通じて、数理科学的方法を身につけて情報学の応用と発展に中心的役割を担う研究者・高度情報技術者を養成する。

### 2) 複雑系科学専攻

データを問題解決に結びつけるシミュレーションやデータ・サイエンス、デザイン等に関する知識や能力に重点を置いて教育を行う。

自然や社会における複雑系は、情報を伝達・変換・蓄積する能力を持つ、多数の分子、ニューロン、生物・人間個体などの要素（エージェント）からなるネットワークとして構成されており、“情報流動”を創造する分散型情報システムとみなすことができる。その大きな特徴は、要素間の相互作用を通して、要素単独の性質からは予期できないような秩序構造や高次機能を動的かつ自律的に生み出す自己組織化にある。複雑系科学専攻では、こうした構造や機能の自己組織化過程を“情報流動”的なダイナミクスに基づく“情報処理”過程とみなすことにより、理論・実験・計算の革新的な方法を開発適用して普遍的な視座を構築し、情報流動の原理を明らかにするとともに実践的な知を生み出すことを目指す。

そのために、多岐にわたる自然・人間・社会・人工物など実世界の複雑系現象を対象に、個別の革新的な方法の開発手法とそれらの総合的な適用手法に加えて、従来の要素還元的方法ではない、モデル系を「つくることによって理解する」構成論的方法を教育する。こうして、実世界の現象をシミュレーションとデータ・サイエンスの視点から理解するとともに、情報流動の原理を新しい分散型情報システムの設計へと応用し、革新的・総合的思考や構成論的思考による新しい発想に基づいて知識や技術を創造できる優れた技術者と研究者を養成する。

### 3) 社会情報学専攻

社会情報学専攻では、新たな科学的知見の獲得や技術的イノベーションとそれらの市民への提供、社会規範や制度の設計・構築、さらには芸術に見られる新たな価値創造とその社会への定着などに関する原理的研究を行う。その基盤の上で、ICTの利活用による様々な規模におけるコミュニティの活性化と科学技術コミュニケーションの質的向上、さらにはソーシャル・メディアを含む情報の産出・流通・消費のグランドデザインを構築する。とりわけメディア環境のグローバル化、マス・メディアとソーシャル・メディアとの相違と相互影響という視点からの新たな人間観・社会観・価値観に基づくメディア・社会・文化の構築を進める。これらについて研究を行うとともに、以上の研究を基礎とした教育、また中部地方を中心とする国内外の自治体や報道機関・主要企業との間で培ってきた研究・教育や社会連携を通して、高度な倫理・規範意識と専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した人間力を培い、技術と社会のよりよい関係の構築に貢献する人材を育成する。

### 4) 心理・認知科学専攻

人間や社会の問題に関わる認知・心理的情報処理に関する知識や能力に重点を置いて教育を行う。

心理・認知科学専攻では、知・情・意などの人間の心の働きを、心理実験、社会調査、脳活動測定、コンピュータ・シミュレーション等の手法を用いて明らかにする。ハードウェアとしての「脳」、ソフトウェアとしての「認知情報処理」、インターフェースとしての「身体」、さらには人間が作り出す環境としての「社会」との結びつきなど、多様な観点から人間の心の働きを理解するとともに、人と人、人と人工物、人と環境の間の相互作用やコミュニケーションのメカニズム、プロセスを解明する。

それらの人間の心に関する深い理解に基づいて、システム、環境、サービス、社会等の各領域に表出する諸問題を解決し、新たな価値を創造するためのコンセプト・方法、例えば、人間の特性に関する深い科学的理解に基づくVR(仮想現実感)システム、AR(複合現実感)システムやその他自動化システムの設計、学習支援の開発、デザインや情報伝達媒介の提案、幸福な高齢社会への提案、公正な社会の構築などを遂行できる人材を育成する。さらに、その成果を芸術、医療、教育、人工知能、社会科学諸領域など、様々な学問領域と結びつけることにより、心理学、認知科学、人間科学、および関連する他分野の創発的発展に寄与できる人材も育成する。

### 5) 情報システム学専攻

情報システムを創造するための情報科学技術とセキュリティに関する知識や能力に重点を置いて教育を行う。

情報システム学専攻では、社会における利便性、安全性、快適性の向上を実現する情報科学技術の創造を目的とした情報システムの教育・研究を行い、効率的で信頼できる情報システムの設計・開発のための情報基盤プラットフォームおよびソフトウェアに対する理論と技術の基盤を確立する情報システム学の新たな発展を目指す。さらに、高信頼アルゴリズムや高度な計算モデルに対する研究に基づいたより高い効率と信頼性を実現する理論と技術の創造によって、情報システムの継続的な進化を探究する。ネットワーク接続により時間的・空間的に境界のない巧緻な次世代情報システムの設計と開発に適用できる情報システム学の教育研究を通じて、システム構築において指導的な役割を担える高度情報技術者及び情報システム学の発展を担える研究者を養成する。

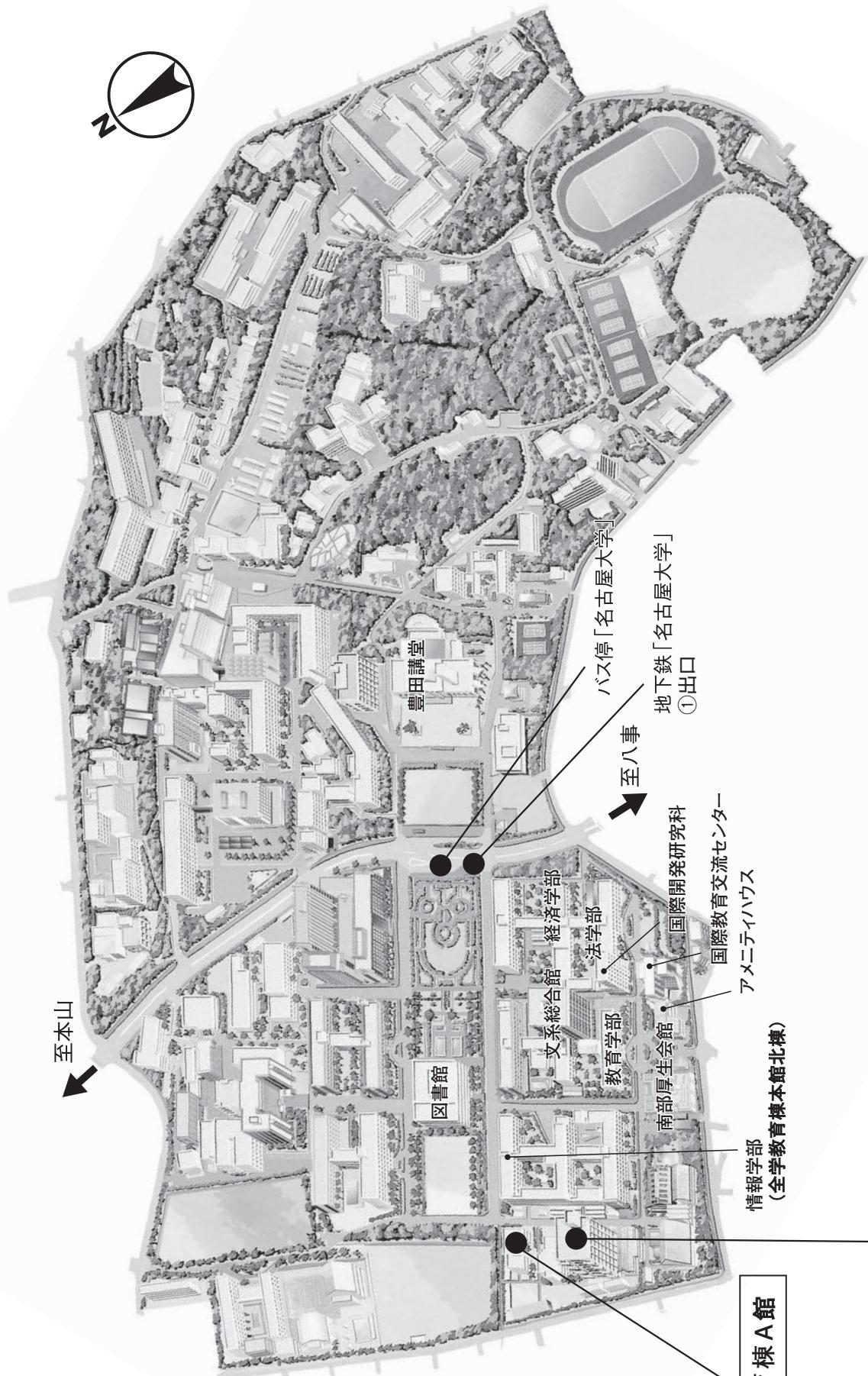
## 6) 知能システム学専攻

知能システムを創造するための実世界のデータ化と解析、人間と情報システムとのインターフェースに関する知識や能力に重点を置いて教育を行う。

情報システムを社会課題の解決に活用するためには、実世界、すなわち自然、人工物、社会活動から情報を取り出し、人間にとて意味ある形式として情報を処理することが不可欠である。情報システムを新たな価値の創造に活用するためには、処理した情報を実世界に働きかけ、その結果をさらなる情報として取り出す循環が必要である。

知能システム学専攻では、このような情報の取得、富化と循環を実現するために必要な理論と技術を、人間の知性・感性・身体と情報システムとにまたがった領域において探求するとともに、それらを探求する人材を養成する。具体的には、(1) 知能システム学の基礎となる理論と技術として、画像・映像処理、音声・音響処理、行動信号処理、自然言語処理、応用人工知能、応用データ・サイエンスなどについて、また、(2) 知能を処理するシステムを設計するための理論と技術として、知的ユーザインタフェース、人間支援技術、データアナリティクスなどについて、さらに、(3) 様々なフィールドにおける知能システム学の社会実装のための理論と技術として、医療情報、法・歴史情報、教育情報などの応用技術について、それぞれ探求する。

# 名古屋大学東山地区配置図



地下鉄名城線  
「名古屋大学」駅下車  
1番出口へ  
出口より 徒歩 5分

情報学研究科棟

全学教育棟A館

## 令和4年度（令和4年2月実施）

## 名古屋大学大学院情報学研究科

## 博士後期課程 入学志願票

受験番号 ※	写真貼付欄 (横4cm×縦5cm)  写真是、上半身脱帽正面 に写し、最近3ヶ月以内に 撮影したもの。 全面のりづけすること。																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>志望専攻</td> <td>専攻</td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>英字氏名 (日本人も記入必須)</td> <td>姓(SURNAME)</td> <td>名(First name)</td> <td>(Middle name)</td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td colspan="3">(西暦) 年 月 日生</td> </tr> <tr> <td>本籍地 (日本人のみ記入)</td> <td colspan="3">都・道・府・県</td> </tr> <tr> <td>国籍</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>出願資格</td> <td colspan="3">           国立・公立・私立・外国            大学大学院 研究科 修士課程            博士前期課程            専攻              (西暦で記入) 年 月 日 修了・修了見込            出願資格( )により事前の入学資格審査等合格(該当者のみ)         </td> </tr> <tr> <td>勤務先 (在職者のみ)</td> <td colspan="3">           Tel: ( ) -         </td> </tr> <tr> <td>現住所</td> <td colspan="3">           ☐□□□-□□□□              Tel: ( ) -            Tel(Mobile): ( ) -         </td> </tr> <tr> <td>緊急連絡先</td> <td colspan="3">           ☐□□□-□□□□              Tel: ( ) -         </td> </tr> <tr> <td>Eメールアドレス (主に使用しているもの)</td> <td colspan="3">@</td> </tr> <tr> <td>Eメールアドレス (通信トラブル用) (注6参照)</td> <td colspan="3">@</td> </tr> <tr> <td>留学生区分(留学生のみ記載) (International Student Category)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>国費 MEXT</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>私費 Independently-financed</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>その他 Others( )</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">           本学在学生及び卒業生のみ記入            (学生番号 <input type="text"/> ) )         </td> <td colspan="2">           収納証明書 貼付欄         </td> </tr> </table>		志望専攻	専攻	フリガナ		氏名		英字氏名 (日本人も記入必須)	姓(SURNAME)	名(First name)	(Middle name)	生年月日	(西暦) 年 月 日生			本籍地 (日本人のみ記入)	都・道・府・県			国籍				出願資格	国立・公立・私立・外国 大学大学院 研究科 修士課程 博士前期課程 専攻  (西暦で記入) 年 月 日 修了・修了見込 出願資格( )により事前の入学資格審査等合格(該当者のみ)			勤務先 (在職者のみ)	Tel: ( ) -			現住所	☐□□□-□□□□  Tel: ( ) - Tel(Mobile): ( ) -			緊急連絡先	☐□□□-□□□□  Tel: ( ) -			Eメールアドレス (主に使用しているもの)	@			Eメールアドレス (通信トラブル用) (注6参照)	@			留学生区分(留学生のみ記載) (International Student Category)				国費 MEXT				私費 Independently-financed				その他 Others( )				本学在学生及び卒業生のみ記入 (学生番号 <input type="text"/> ) )		収納証明書 貼付欄	
志望専攻	専攻																																																																		
フリガナ																																																																			
氏名																																																																			
英字氏名 (日本人も記入必須)	姓(SURNAME)	名(First name)	(Middle name)																																																																
生年月日	(西暦) 年 月 日生																																																																		
本籍地 (日本人のみ記入)	都・道・府・県																																																																		
国籍																																																																			
出願資格	国立・公立・私立・外国 大学大学院 研究科 修士課程 博士前期課程 専攻  (西暦で記入) 年 月 日 修了・修了見込 出願資格( )により事前の入学資格審査等合格(該当者のみ)																																																																		
勤務先 (在職者のみ)	Tel: ( ) -																																																																		
現住所	☐□□□-□□□□  Tel: ( ) - Tel(Mobile): ( ) -																																																																		
緊急連絡先	☐□□□-□□□□  Tel: ( ) -																																																																		
Eメールアドレス (主に使用しているもの)	@																																																																		
Eメールアドレス (通信トラブル用) (注6参照)	@																																																																		
留学生区分(留学生のみ記載) (International Student Category)																																																																			
国費 MEXT																																																																			
私費 Independently-financed																																																																			
その他 Others( )																																																																			
本学在学生及び卒業生のみ記入 (学生番号 <input type="text"/> ) )		収納証明書 貼付欄																																																																	

- 注: 1. ※印は記入を要しない。  
 2. 志願票、受験票、写真票及び履歴書の所定欄に漏れなく記入すること。  
 3. 英字氏名について、姓はすべて大文字ブロック体、名およびミドルネームは最初の一文字のみ大文字で  
二文字以降は小文字とすること。  
 4. 勤務先欄は、有職者のみ記入し、所属部課等まで記入すること。  
 5. 現住所及び緊急連絡先欄は、○○○○マンション又は○○方まで正確に記入すること。  
 6. Eメールアドレス(通信トラブル用)欄は、通信トラブル用として、主に使用しているもの他にもう一つEメールアドレスを記入すること。

## 志願理由書

専攻名	志望教員／研究グループ	氏名	※受験番号
専攻			

○志願理由を記入すること。

(入学する目的、入学・進学後に特に学修したい分野及び専攻・講座を選んだ理由などについて記入すること。)

令和4年度(令和4年2月実施)  
名古屋大学大学院情報学研究科  
博士後期課程

## 履歴書

受験番号

※

1.高等学校等の入学から2022年3月末まで空白期間がないよう記入すること。予備校、日本語学校及び研究生等の在籍事項や、所属先がなく、自宅で勉強をしている場合についてもれなく記載すること。

ただし、外国において学校教育を受けた者については小学校の入学時から全てを記入すること。

2.学歴・職歴問わず、名称等は省略せず正確に記入すること。

3.休学期間がある場合は、特記事項に記入すること。

フリガナ(Furigana)				性別
氏名	(西暦) 年 月 日生			男 ・ 女

本籍地 (日本人のみ記入)	都・道・府・県
国籍	

### 学歴 ※外国において学校教育を受けた者のみ小学校から記入すること。

区分	学校名	入学及び卒業年月	正規の修学年数
小学校	小学校	年 月 入学 年 月 卒業	年
中学校	中学校	年 月 入学 年 月 卒業	年
高校 高等専門学校	高校 高等専門学校	年 月 入学 年 月 卒業	年
大学	大学 学部 学科	年 月 入学 年 月 卒業	年
大学院	大学大学院 研究科 専攻 課程	年 月 入学 年 月 修了・修了見込・その他 ( )	年
研究生	(大学名を記入) 大学研究生	年 月 から 年 月 まで	
予備校、日本語学校等	(学校名を記入)	年 月 から 年 月 まで	
その他	(所属先がなく、自宅で勉強していた場合は「自宅で受験勉強」と記入)	年 月 から 年 月 まで	
特記事項 (学歴で休学期間等あれば記入)			

### 職歴・研究歴(最近のものから記入)※在職者で入学後退職する予定の場合は、退職する旨余白に記載すること

勤務先(会社名)及び所在地	勤務期間	所属部課	役職名	職務内容
	年 月 から 年 月 まで			
	年 月 から 年 月 まで			
	年 月 から 年 月 まで			
	年 月 から 年 月 まで			
	年 月 から 年 月 まで			
	年 月 から 年 月 まで			

【注】※印欄は記入しないでください。

## 論文要旨

志望専攻名	氏名	※受験番号

論文テーマ	

- 注意 1. 本用紙に記入するか（鉛筆不可）、本様式全てをワープロ等で作成すること。  
2. ※印欄は記入しないこと。  
3. 必要に応じて用紙を追加してよい。

令和4年度(令和4年2月実施)  
名古屋大学大学院情報学研究科  
博士後期課程

受験番号  
※

【注】※印欄は記入しないでください。

## 受 駿 票

志望専攻	専攻
フリガナ(Furigana)	
氏名	
生年月日	(西暦) 年 月 日 生 男・女

- 本票は受験中、常に携帯し、入学の手続きが完了するまで保存すること。
- 本票は、試験の際に机上に置いて監督者に見えるようにすること。
- 本票は、監督者の請求があれば何時でも見せること。
- 遅刻した者は、指定された試験室の監督者に申し出ること。

令和4年度(令和4年2月実施)  
名古屋大学大学院情報学研究科

受験番号  
※

【注】※印欄は記入しないでください。

博士後期課程

写 真 票

写真貼付欄  
(横4cm × 縦5cm)

写真は、上半身脱帽正面に  
写し、最近3ヶ月以内に撮影  
したもの。  
全面のりづけすること。

志望専攻	専攻	
フリガナ(Furigana)		性別
氏名	(西暦) 年 月 日生	男 ・ 女

※出席確認欄

口述試験

【注】※印欄は記入しないでください。

## 宛名シート

- このシートは「入学手続き書類」等を送付する場合の宛名として使用するので、令和4年3月上旬に受信できる住所を正確に記入すること。(3つとも同じ住所を記入)
- 日本国外在住者は、住所及び名前を英字でご記入ください。
- このシートを提出後に、住所の変更があった場合は、速やかに以下へお知らせください。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院情報学研究科教務学生係  
E-mail: admission@i.nagoya-u.ac.jp

〒  -

(住所)

(氏名)

様

〒  -

(住所)

(氏名)

様

〒  -

(住所)

(氏名)

様

【別紙1】

令和4年度 名古屋大学大学院情報学研究科博士後期課程  
「オンライン口述試験連絡票」の提出について

オンラインによる入学試験を実施する際にすぐに連絡が取れるように、E メールアドレス及び携帯電話番号などの連絡先をインターネットによるアンケートフォームにてご提出ください。以下の QR コードまたは URL にアクセスし、募集要項に記載のある願書受付期間内(令和3年12月27日(月)日本標準時16時まで)に入力してください。

入力は令和3年12月15日(水)日本標準時0時から可能です。

QR コードまたは URL にアクセスし、  
願書受付期間内にご提出ください。 →



URL:

<https://forms.office.com/r/bAqtWFsiFf>

※「オンライン口述試験連絡票」の内容は、郵送で提出する「入学志願票」の内容と必ず一致させてください。記入した「入学志願票」を見ながら入力することをお勧めします。

なお、この連絡票を提出しても、出願書類が願書受付期間に届かない場合や、出願書類に不備があった場合は、受験できませんので、注意してください。

【照会先】〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院情報学研究科教務学生係 TEL 052-789-4721・4722

<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/>

E-mail: [admission@i.nagoya-u.ac.jp](mailto:admission@i.nagoya-u.ac.jp)

## 【別紙2】

名古屋大学大学院情報学研究科長 殿

### 誓 約 書

令和4年度名古屋大学大学院情報学研究科博士後期課程入学試験のオンライン口述試験を受験するに当たり、下記事項を順守することを誓約いたします。

- ・自己の責任において、ビデオ通話が可能な機器（カメラ付きパソコン、タブレット、スマートフォン等）を用意するとともに、面接を受けることを予定している場所（自宅、通学する教育機関等の個室）で、良好かつ安定的なインターネット環境を確保すること。
- ・面接を受ける場所（以下「試験室」という。）には本人以外入室せず、試験開始から終了まで一人であること。また、試験室は静寂な状態を保つよう努めること。
- ・オンライン口述試験に使用する以外の通信機器は、電源を切り、試験室に持ち込まないこと。場所の都合上やむを得ず持ち込まざるを得ない場合は、試験開始から試験終了まで当該通信機器に触れないこと。
- ・試験中に撮影、録画、録音を行わないこと、及びそれらの画像、映像、音声データをSNS等で配信しないこと。
- ・試験実施に際して知り得た情報を、合格発表まで口外しないこと。

年　　月　　日

志望専攻名

氏名（自署）

令和4年度  
名古屋大学大学院情報学研究科  
博士後期課程入学試験

受験番号 ※
-----------

※印欄は記入しないでください。

出願書類チェック表

志望専攻 (○で囲む)	数理情報学専攻	複雑系科学専攻	社会情報学専攻	心理・認知科学専攻	情報システム学専攻	知能システム学専攻
フリガナ						
氏名						

- 以下の順番(入学志願票が一番上)になるよう出願書類をこのチェック表とともに郵送してください。
- 提出する書類の「出願者チェック欄」に、✓印を記入してください。
- 提出が不要な書類のチェック欄には、斜線「/」を引いてください。

提出書類	対象者	ダウンロード	自分で用意	出願者チェック欄	大学チェック欄
入学志願票【様式1】 (本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程へ進学する者及び国費外国人留学生は、入学検定料不要)	全員	<input type="radio"/>			
受験票	全員	<input type="radio"/>			
写真票	全員	<input type="radio"/>			
志願理由書【様式2】	全員	<input type="radio"/>			
履歴書【様式3】 (高等学校等の卒業から現在まで空白期間がないよう記入すること。研究生や予備校等の在籍事項についても記載すること。外国において学校教育を受けた者については初等教育(小学校)の入学時から全てを記入すること。)	全員	<input type="radio"/>			
受験票送付用封筒(市販の封筒) (長形3号封筒に344円分の切手を貼り、送付先の住所、氏名を記入。日本国外への送付を希望する場合は、A4サイズの封筒に日本の切手1400円分または国際返信切手券(IRC)11枚を同封)	全員		<input type="radio"/>		
合否通知送付用封筒(市販の封筒) (長形3号封筒に344円分の切手を貼り、送付先の住所、氏名を記入。日本国外への送付を希望する場合は、A4サイズの封筒に日本の切手1400円分または国際返信切手券(IRC)11枚を同封)	全員		<input type="radio"/>		
宛名シート	全員	<input type="radio"/>			
修士学位取得(見込)証明書又は修士修了(見込)証明書(コピーは不可) (本研究科、情報科学研究科及び人間情報学研究科の修了見込者及び修了者は不要)	該当者		<input type="radio"/>		
成績証明書 (本研究科、情報科学研究科及び人間情報学研究科の修了見込者及び修了者は不要)	該当者		<input type="radio"/>		
修士学位論文1部(写も可) (修士学位論文を提出しないで修了した者はそれに代わる研究論文等) 修士学位取得見込の者は不要	該当者		<input type="radio"/>		
論文要旨【様式4】 【様式4】に記入するか所定の様式全てをワープロ等で作成したもの	全員	<input type="radio"/>			
オンライン口述試験に関する誓約書【別紙2】	全員	<input type="radio"/>			
オンライン口述試験連絡票【別紙1】参照 (インターネットにより出願期間内に提出すること)	全員		インターネットにより提出を済ませたら右にチェック→		
(外国人留学生のみ)日本語能力試験の合格証又は成績通知書 (提出は任意。コピーを提出する場合は自筆にて「これは原本の複写に相違ありません」と記入)	該当者		<input type="radio"/>		
英語検定試験(英検・TOEIC・TOEFL・IELTS・Duolingoなど), その他の外国語(仏独語など)検定試験の合格証又は成績通知書のコピー (提出は任意。コピーを提出する場合は自筆にて「これは原本の複写に相違ありません」と記入)	該当者		<input type="radio"/>		
在留カードのコピー(両面)等 (日本在住の外国人は在留カードのコピー等、日本国外在住の外国人はパスポートの写し等)	外国人全員		<input type="radio"/>		
受験承認書(在職中で入学後も引き続き在職する者のみ) (入学後退職する予定の場合は、その旨記した申出書)	該当者		<input type="radio"/>		
国費留学生の証明書 (学内からの出願者は提出不要)	該当者		<input type="radio"/>		
最終チェック	ダウンロードした様式は、A4判用紙に片面印刷されていますか？				
	記入もれがないか、すべての書類を確認しましたか？				

必要料金  
分の切手  
を貼って  
ください

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院

情報学研究科教務学生係

行

簡易書留

「博士後期課程入学願書在中」

出願者	情報学研究科 博士後期課程	
	志望研究科 専攻名	数理情報学専攻 複雑系科学専攻 社会情報学専攻 心理・認知科学専攻 情報システム学専攻 知能システム学専攻
	住所	※志望する専攻名を ○で囲ってください。
氏名		

※出願書類を郵送する際は、この宛名用紙を市販の角型2号封筒（A4サイズ）  
に貼り付けて送付してください。

【様式5】

[後期課程出願資格（5）による審査用]

令和 年 月 日

出願資格(5)による事前審査申請書

名古屋大学大学院情報学研究科長 殿

名古屋大学大学院情報学研究科博士後期課程 \_\_\_\_\_ 専攻

に出願したいので、出願資格（5）により事前審査を受けたく、関係書類を添えて  
申請いたします。

フ リ ガ ナ

(志願者)氏 名 \_\_\_\_\_

現職等（所属機関・部署・職名等、学生の場合は大学名・身分）  
\_\_\_\_\_

連絡先住所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

携帯電話 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

【様式 6】

[後期課程出願資格（6）による審査用]

令和 年 月 日

出願資格（6）による個別審査申請書

名古屋大学大学院情報学研究科長 殿

名古屋大学大学院情報学研究科博士後期課程 \_\_\_\_\_ 専攻

に出願したいので、出願資格（6）により個別審査を受けたく、関係書類を添えて  
申請いたします。

フ リ ガ ナ

(志願者)氏 名 \_\_\_\_\_

現職等(所属機関・部署・職名等、学生の場合は大学名・身分)

連絡先住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

携帯電話 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

【様式 7】

[後期課程出願資格（5）による審査用]

事前審査シート

氏名 \_\_\_\_\_

文部科学大臣の指定した者（8頁参照）に該当する理由を記入してください。

## 個別審査シート

氏名 \_\_\_\_\_

修士の学位を有する者と同等以上の学力があるとする理由を記入してください。

### 【様式9】

### [後期課程出願資格（5）による審査用]

## 研究歷證明書

令和 年 月 日

## 證明者

[所属・職名・氏名]

印

### 電話番号

注) 志願者を熟知する所属の長、又は指導的立場にある者が証明すること。

## 【様式 10】

### [後期課程出願資格（6）による審査用]

## 研究職／専門職従事証明書

令和 年 月 日

## 證明者

[所属・職名・氏名]

印

電話番号

注) 志願者を熟知する所属の長、又は指導的立場にある者が証明すること。